

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立瓜破東小

学校

児童数

46

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.05	19.00	29.25	40.95	46.25	8.97	152.70	21.70	52.95
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	18.23	17.50	34.81	40.15	41.64	9.12	151.72	15.50	58.38
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

測定項目8項目中、男子は5項目が全国・大阪市の結果を上回り、2項目が大阪市の結果を上回った。女子は6項目が全国・大阪市の結果を上回った。また体力合計点は、男女ともに全国・大阪市の結果を上回った。

児童質問紙「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」の項目においては、肯定的回答が男子100%、女子88.5%という結果であり、いずれも全国・大阪市の結果を上回った。また、「あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか」の項目においては、肯定的回答が男子は100%で全国・大阪市の結果を上回った。一方、女子は80.8%で全国・大阪市の結果を下回った。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子は15%、女子は20%であった。これは、全国・大阪市の結果と比較すると、総運動時間が少ないという結果になる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

この1年、WithコロナからAfterコロナとなり、徐々に学校における運動の制限が解除されてきた。それに伴い、本校でも休み時間に運動場や中庭で遊ぶ児童の姿が増加してきた。また、教職員も休み時間は積極的に運動場や中庭に出て児童とともに遊ぶことで、楽しみながら体力増進を図るソフト面での環境整備に努めてきた。さらにハード面では、限られた予算を最大限活用し、本校の課題の一つであったソフトボール投げを強化するために、フォームマスターを導入したり、様々な運動場面でタイムを意識できるようトレーニングタイマーを整備したりした。

現在、本校は若手教員が大多数を占めており、指導力向上が課題の一つである。そこで、実技研修や用具・器具の正しい使い方などの研修を適宜行ってきた。しかし、遊具が鉄棒と登り棒だけという現状がある。そこで「びよんびよんタイム（なわとび）や「らんらんタイム（かけあし）」をはじめ、一輪車や竹馬、フラフープなど身近にあるもので児童が楽しみながら体力増進を図れるように、体育主任を中心に【うりチャレ】（瓜破東小児童チャレンジの略称）を進めている。今後は、【うりチャレ】が、教師主導から児童主体の常時活動になるよう働きかけていくことで、生涯にわたって運動やスポーツに親しめる児童の育成に取り組んでいく。